

2016年 (平成28年) 5月26日 (木曜日)

アメリカは今、これからの国の舵取りを誰に任せるのかということ揺れています。史上最大のリークと呼ばれるパナマ文書による告発は複雑な思いを私たちに抱かせています。世の競争は厳しく、今や倒産や合併という言葉は珍しいことではなく、不動と思われていた大企業が不祥事により力を失っていく様を私たちは目の当たりにしています。そして、これらのことを見るまでもなく私たちのすぐ身近なところにもいろいろの問題があります。健康の問題、結婚生活の問題、育児・教育問題、経済問題、老後の問題…。

サンゼルスであっても東京であっても「癒し」とか「healing」という看板をよく見かけます。現実から逃避するために一時の慰めに手をつける人は後を絶たず、情報

た企業というものはありませんでした。結婚や教育の問題も今日のそれとは異なったものであったに違いありません。しかし、基本的にこれらの問題の核にある原因は昔も

う」という言葉を聞くことがあります。歴史とは過去に起きたことで、そこから成功や失敗にいたる過程というものを知らることができるからです。それを知ることにより私たちは同じ失敗を繰り返すことから免れ、また私たちが進むべき道を知ることができま

が、いかがでしょうか。もし、このことに同意していただけたら、聖書を手にとって読んでみませんか。そこには人が引き起こした無数の問題があり、その問題が放置された場合の結末が記されています。私たちは聖書に記されている人間の赤裸々な心の中に自分の心を見出します。そして聖書はそこからわれわれを突き放すのではなく、そこからの根本的な解決を与えようとする書物なのです。『聖書はすべて神の靈感を受けて書かれたものであって、人を教え、戒め、正しくし、義に導くのに有益である』(IIテモテ3章16節) (サンディエゴ日本人教会)

南加キリスト教教会連合

応急処置ではなく…

大倉 信

に溢れ、至極便利になったこの世界にありながら私たちは心身ともに疲れを感じています。

今も変わりません。そうです、その問題の中心には人間の心があり、人の心は3000年前も今も何ら変わっていないのです。私たちは「歴史から学ば

す。聖書の時代に今日のような大統領選挙や租税回避地、ま